

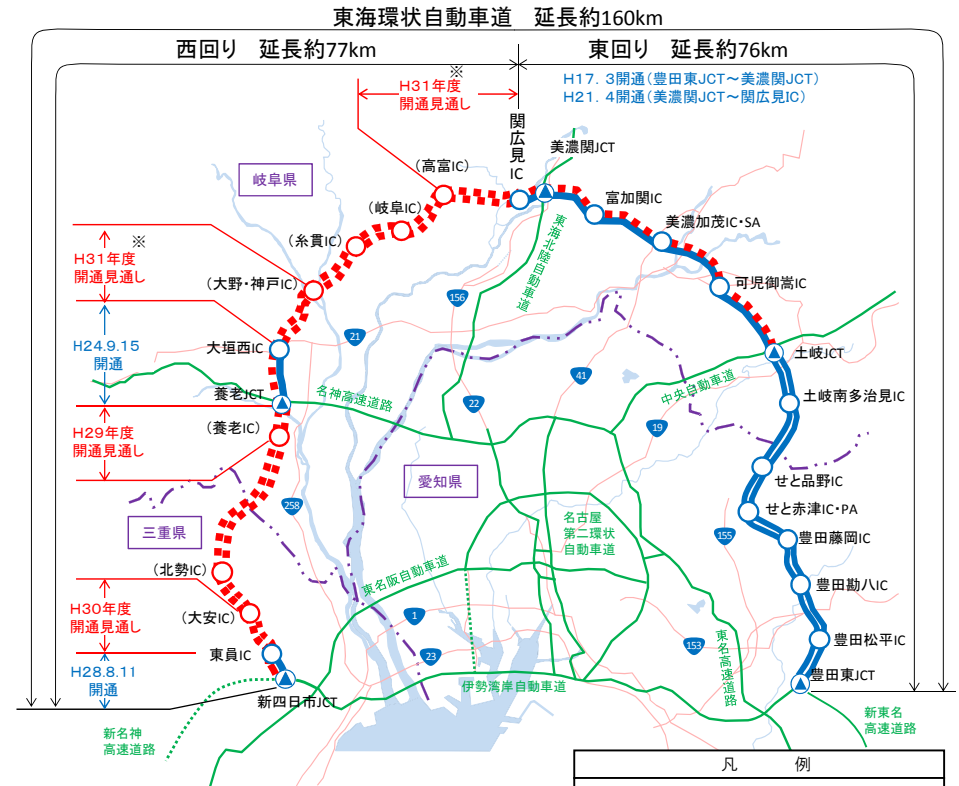
区間	計画延長	主な状況	備考
関広見IC ～ (高富IC)	8.4km	【用地】 用地取得中 【工事】 トンネル6本のうち4本貫通(北野・三輪・大洞・小洞) 山県TN工事、橋梁下部工事、改良工事、橋梁上部工事を推進中	平成31年度※ 開通見通し
(高富IC) ～ (岐阜IC)	6.1km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【工事】 改良工事を推進中	
(岐阜IC) ～ (糸貫IC)	6.3km	【用地】 用地取得中(平成26年度着手) 【調査】 埋蔵文化財調査を推進中	
(糸貫IC) ～ (大野・神戸IC)	6.8km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事を推進中	
(大野・神戸IC) ～ 大垣西IC	7.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工、改良工事を推進中	平成31年度※ 開通見通し
大垣西IC ～ 養老JCT	5.7km	平成24年9月15日開通	
養老JCT ～ (養老IC)	3.3km	【用地】 用地完了(平成26年度) 【工事】 橋梁上部工事、改良工事を推進中	平成29年度 開通見通し
(養老IC) ～ (北勢IC)	18.0km	【用地】 用地取得中 【設計】 橋梁・道路詳細設計を推進中 【工事】 工事用道路建設を推進中	
(北勢IC) ～ (大安IC)	6.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁上下部工事を推進中	
(大安IC) ～ 東員IC	6.1km	【工事】 橋梁上下部工事を推進中	平成30年度 開通見通し
東員IC ～ 新四日市JCT	1.7km	平成28年8月11日開通	

※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約160kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。

本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。



※予算状況等により開通時期が遅れることがあります。

<トピックス>

■東海環状西回り利活用促進会議が発足



平成28年7月14日、東海環状自動車道を利活用する自治体と企業等が協力し、ストック効果の最大化を図り、地域の持続的なまちづくりを支援することを目的に会議を発足し、初代会(約100名)が開催されました。初代会では、三重県、岐阜県の県境を越えて一堂に会し、活用方法についての意見を交わしました。

■新四日市JCT～東員IC間開通



平成28年8月11日15時に新四日市JCT～東員IC及び新名神高速道路の四日市JCT～新四日市JCT間が開通しました。開通区間は東名阪自動車道・伊勢湾岸自動車道と接続し、地域間交流や企業活動を支援するストック効果が期待できます。

ストック効果: 整備された社会資本が機能し、継続的に発揮される生産性向上等の効果



愛称「MAGロード」

三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせて「MAGロード」と命名されました。マグネット(磁石)のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所

東海環状自動車道(西回り)現場状況

■ 養老JCT～(養老IC)

平成29年度開通見通し

平成28年8月撮影

平成28年10月撮影



■ (大安IC)～東員IC

平成30年度開通見通し

平成28年3月撮影

平成28年8月撮影



■ 関広見IC～(高富IC)

平成31年度開通見通し

平成28年10月撮影

平成28年10月撮影



■ (大野・神戸IC)～大垣西IC

平成31年度開通見通し

平成28年8月撮影

平成28年10月撮影



■ (高富IC)～(大野・神戸IC)

平成28年9月撮影

平成28年10月撮影



■ (北勢IC)～(大安IC)

平成28年8月撮影

平成28年8月撮影

